

NPO 法人 JAVCOM 第 14 回 通常総会開催される



NPO 法人 JAVCOM 第 14 回通常総会が、平成30年6月1日(金)に神奈川県箱根町強羅の「報道基金ごうら山荘」にて開催されました。

16時、二口善乃事務局長の総会出欠報告〈出席総数 38名(団体 31社、個人 7名)、委任状 27通(団体 22社、個人 5名)〉により総会の成立が報告され、金丸理事長の開会挨拶の後、二口事務局長による議長選出によって、金丸理事長が議長に就任し、そして議事録署名人を選出いたしました。

事務局長による会員動向の報告にはじまり、各委員長による平成 29 年度の事業報告および事務局長による平成 29 年度の収支計算、森澤監事による監査報告、各委員長による平成 30 年度の事業計画案、事務局長による平成 30 年度の収支予算案など、7号までの議案の採決がとどこおりなく進められ、17時45分、予定どおり総会は閉会しました。

なお、本年度より新たに、現在および過去において本会会員である団体に所属していた個人が本会の目的に賛同して



出欠報告、議長選出などの報告を行った 二口 善乃 事務局長(左)と、開会の挨拶をする金丸 幹夫 理事長(右)

入会した個人が入会可能な OB 会員制度を新設しました。

本年は役員改選の年でもあり、技術研究委員会、ニュービジネス研究委員会、ソフト制作研究委員会の各委員長と、当会の創設以来長年に亘り理事長として貢献してきた金丸幹夫氏から大竹和夫氏に理事長が交代することが決まりました。

NPO 法人 JAVCOM 第14回 通常総会 次第

議案	項目	担当
	出欠報告 開会挨拶 議長選出 議事録署名人の専任	事務局長 理事長 事務局長 議長
第1号議案	会員動向	事務局長
第2号議案	定款変更の承認	議長
第3号議案	平成29年度事業報告書(案)	運営委員長 広報出版委員長 ニュービジネス研究委員長 技術研究委員長 ソフト制作研究委員長 常任幹事長

議案	項目	担当
第4号議案	平成29年度収支計算書(案) 〃 監査報告	事務局長 監査
第5号議案	平成30年度事業計画書(案)	運営委員長 広報出版委員長 ニュービジネス研究委員長 技術研究委員長 ソフト制作研究委員長
第6号議案	平成30年度収支予算書(案)	事務局長
第7号議案	新役員の承認 その他	議長
	閉会	
	懇親会 (新入会員紹介、他)	

理事長あいさつ

JAVCOM は映像関連の最先端に連携研鑽を積み各個、 各企業発展を指向する「人生100年ステージは若き世代こそ本命」



開会挨拶をする
金丸幹夫理事長

本日は週末の多忙なところ遠方まで「NPO法人JAVCOM第14回通常総会」にご参加を頂き厚く感謝を申し上げます。

少子高齢化対応の時世は「JAVCOM ニュース年頭の所感」で触れ、その補足になりますが、高齢化の進行は長い人生では多くのチャンスにも

出会い70代を働くことが生き甲斐の選択肢となって拡大することも事実であります。このポジティブな人生100年世代は正論となるが、逆に年功序列は終わりを告げキャラクターナイズしたアクティブな若き世代の高揚となります。

私たち映像関連もまたTV68年の履歴を背景にグローバル化・デジタル化の世代を走り出し、今年は4K8K時代を本格的に迎えようとしています。一方ではIP20年の普及はブロードバンド化・スマートデバイス化が進行して、放送と通信はボーダレスとなり両者の配合連携の

配信もまた新しいステージに入ってきました。そして、このジャンルの改革にタスクホールするリーダー格は「スピードと実践力のある若き世代」が頭角であると思われるてなりません。

映像関連の特異体質で活性化する異業種のJAVCOMはNPO法人として、この関連産業の発展と映像文化の発展を視野に、広く社会貢献する使命があります。

恒例、新年会の拡大セミナーを筆頭に事業展開の春秋2大セミナーと共に、各研究委員会の活性化をも路頭して、アイデアのある未来志向の議論研鑽とその実践を続行して参ります。

尚、若き世代パワーアップ「変革実践」は、最優先の課題でもあります。その背景には、将来の前向き行動派に脈打つ「あったかい和が輪となるコミュニケーションメンバー」の概念が仲間相互のリスペクトを大事にすることはJAVCOMの変わらぬ哲学でもあります。

そして「ヤングパワーの期待」をするためには「功労累年に輝くシニアメンバーのバックアップ」は必須のエレメントであり、お力添えをお願いすると同時に、会員各位のご発展と幸運をお祈り致します。

第14回 通常総会

各委員会報告 各委員会より平成 29年度事業報告と平成 30年度事業計画案の発表が行われました。

事業報告・事業計画

平成 29 年度の事業報告



八巻 磐 副理事長

今年度も当会の事業活動は、日々変革を遂げるデジタル技術とメディアにスポットを当て、更に具体的なテーマでの活発な活動を行い、大きな事業成果を得ることができました。特に事業を進めるにあたっては、担当委員会の皆さんの多大なるご尽力のもと、映像業界に

とってより身近な内容で活動が実践されました。これは会員各位のご協力と熱意に資するものであり深く感謝申し上げます。

またInterBEE 開催に当たっては、当会として昨年に続き3度目のブース出展を実施しました。昨年の反省を含めて今年は広報出版委員会が主体となり入念な準備を行い、各委員会の協力のもと、広く映像業界及び一般の方々へのPR活動の場として意義ある活動が実践されました。

当会の事業活動を支える根幹は、常任幹事会での活動方成果を上げたものと考えます。

平成 30 年度事業計画書(案)

本年度、平成30年度JAVCOMは創立39年目、そしてNPO法人として14年目を迎えます。

新年度に於かれましてもJAVCOMの活動に対し、会員皆様の更なるご支援ご協力をお願いいたします。

ますます変革多様化する様々なメディアは、技術革新と共にデジタルイノベーションとして私どもの映像ビジネスばかりではなく、個人一人一人のライフスタイルにも変革をもたらし、さらに幅広い情報収集と対応が必須となります。

ついては従来にも増して、その研究・啓発・広報などの目的としたセミナー事業の活性化を図るとともに、NPO法人ならではのユニークな活動を企画実施し、会員及び映像業界の発展に資する活動を目指してまいります。

常任幹事会報告



相原 健行 常任幹事長

平成 29 年度の常任幹事会は金丸理事長を中心に8名のメンバーで以下の活動を行ってまいりました。

- 1: 毎月1回の定例会議の開催
- 2: 総会、理事会、運営会議の開催
- 3: 役員改選に伴う選挙の実施
- 4: NPO法人としての所轄官

庁への活動報告や提出書類の取りまとめ

- 5: 映像関連団体事務局会議に参加、映像業界の情報収集交換等に努めました
- 6: 忘年会、新春セミナーの企画開催
- 7: 年間を通じての事務局の管理運営等であります。

平成 29 年度はスタート早々突然の事務局員退職の事態に直面し、会員皆様にはたいへんご不便をおかけしま

したことをお詫び申し上げます。

しかしながら皆様のご協力をいただき諸問題の解決に当たり、協会活動が無事に継続、終了できましたことをお礼申し上げます。

本年度はまた新たな会員制度としてOB会員を設けました。これは会員の皆様のお声を反映した組織です。

ぜひとも関係者にご紹介いただき会員増加につなげていただきたいと思います。

平成 30 年度は役員改選の年です。その節は大勢の会員皆様に立候補いただきありがとうございました。おかげさまで新しい役員が選出されました。お礼申し上げます。

本年度も当会の円滑な運営と活気ある活動を継続できますよう会員皆様のご意見や要望をお聞きしながら、当会の一層の発展に向けて活動をしてまいります。

ご支援ご協力のほど、よろしくをお願いいたします。

第14回 通常総会



監査報告
平野健治 監事



ソフト制作
研究委員会報告
佐藤 洋 副委員長



広報出版
委員会報告
金指篤美 副委員長

第2号議案

定款の一部変更について

〈旧〉

(総会の招集)

第24条

3 総会を招集する場合には、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面により、開催日の少なくとも10日前までに通知しなければならない。

(総会での表決権等)

第28条

2 やむを得ない理由により総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の会員を代理人として表決を委任することができる。

(総会の議事録)

第29条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(2) 会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(理事会の招集)

第33条

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面により、開催日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(理事会での表決権等)

第36条

2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

(理事会の議事録)

第37条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名(書面表決者にあっては、その旨を付記すること。)

(公告の方法)

第52条 本会の公告は、本会の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、本会のホームページにおいて行う。

〈新〉

(総会の招集)

第24条

3 総会を招集する場合には、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は、電磁的方法により、開催日の少なくとも10日前までに通知しなければならない。

(総会での表決権等)

第28条

2 やむを得ない理由により総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の会員を代理人として表決を委任することができる。

(総会の議事録)

第29条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(2) 会員総数及び出席者数(書面若しくは電磁的方法による表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(理事会の招集)

第33条

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は、電磁的方法により、開催日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(理事会での表決権等)

第36条

2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決することができる。

(理事会の議事録)

第37条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名(書面若しくは電磁的方法による表決者にあっては、その旨を付記すること。)

(公告の方法)

第52条 本会の公告は、本会の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、本会のホームページにおいて行う。

第14回 通常総会

新理事長就任あいさつ



大竹 和夫 新理事長

この度、NPO 法人日本ビデオコミュニケーション協会（JAVCOM）の総会に併せて開催されました理事会に於きまして理事長を拝命致しました大竹でございます。

当協会は、映像産業の研究進展と映像文化の発展を目指し、金丸前理事長のもと「新しい技術は、新しい創造を生み新しい創造は、更に新しい文明作り出す」というメッセージを持って1981年任意団体として映像産業に携わる集団として設立しました。

その後2004年8月に東京都認可のNPO法人として承認され、広報出版委員会・ニュービジネス研究委員会・技術研究

委員会・ソフト制作研究委員会の4つの委員会が我が国に於ける映像・情報産業発展の一翼を担うべく活動をしております。

JAVCOMでは、最新の映像技術を応用したコンテンツ開発や映像関連ビジネスに関する公開セミナーの開催及び映像情報の収集や提供そして人材育成など映像情報産業の発展に寄与する活動を映像関連団体の皆様とのパートナーシップを深め活動を続けて参りますので何卒ご支援の程お願い申し上げます。

理事長 大竹 和夫

副理事長あいさつ



高瀬 義美 副理事長

この度、副理事長を拝命いたしました高瀬義美でございます。

いつもNPO 法人日本ビデオコミュニケーション協会に多大なご協力いただき誠にありがとうございます。

約20年間のJAVCOM会員での活動のなかで、多岐にわたる経験をさせていただき人脈を広げ最新の情報を仕入れることができました。

微力ながら大竹新理事長のサポート役として、今後も映像情報産業の発展と我が国の文化向上に貢献できるよう、精一杯尽力させていただきますので、ご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

副理事長 高瀬 義美

副理事長あいさつ



寺林 英明 副理事長

この度、NPO 法人日本ビデオコミュニケーション協会副理事長の重責を担うことになりましたニッキャビ株式会社の寺林英明です。

副理事長という大役を仰せつかり身の引き締まる思いですが、諸先輩方々が築き上げてこられました礎を踏まえ、昨今映像業界を取り巻く環境が著しく変化し、益々厳しさを増す中、映像に係る異業種関連の垣根を大きく越え、さらに会員拡大を図り、魅力ある様々な行事、有益な情報交換及び収集の場、ネットワーク作りの場、会員間の親

睦の場及びコミュニケーションの場となり、より一層会員企業の皆様方のビジネスチャンスに繋がるよう活性化し、魅力的なメリットのある協会になるように協会運営に務めさせて頂く所存です。

本協会のさらなる発展のために大竹新理事長のサポートを微力ながら尽くしてまいりたいと思いますので、皆様方のご指導、ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

副理事長 寺林 英明

第14回 通常総会

ニュービジネス研究委員会 委員長 あいさつ



ニュービジネス研究委員会
関野和行 委員長

今年度よりニュービジネス研究委員会の委員長を仰せつかりましたニューテレス・テクノ株式会社の関野です。

昨今 映像業界、音楽業界においては単にハイレベル化のみならず、コンテンツの供給方法やユーザーの視聴方法の多角化などから要求されるプログラム内容の幅広さに厳しいコスト制限、コンプライアンスにセキュリティ管理、さらには働き方改革に人手不足などなど業界を牽引される方々にとっては悩みの多いことと思います。

このようなことから制作に携わる全ての企業、人々が密接にコミュニケーションを取り、将来の安定的な事業を築き上げていく。

我々ニュービジネス研究委員会はそのような方々、そしてJAVCOM 会員各社の事業発展に少しでもお役に立てるような活動を行っていただければと考えております。

当委員会メンバーは会員各社の重役クラスの方が多く在籍しており、優秀な方々が集まっている会でもあります。私が纏め上げていけるかどうか不安もありますが皆様の力をお借りしてより良い委員会となるよう運営をしていきたいと思っております。

JAVCOM 会員皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ニュービジネス研究委員会 委員長 関野 和行

ソフト制作研究委員会 委員長 あいさつ



ソフト制作研究委員会
吉田 諭敏 委員長

この度、ソフト制作研究委員会の委員長を拝命致しました吉田でございます。

ソフト制作研究委員会におきましては、これまで、竹治前委員長のもと、「e スポーツ」「リマスター・アーカイブ」「配信」「撮影」「ドキュメンタリー」「字幕」「VR」「CG」「音声合成」「落語」など多様なテーマの勉強会を開催して参りました。

今後は、更に多様化する映像業界の現状を反映した新しいコンテンツやサービスを、皆様とリアルに共有できる勉強会を開催して参りたいと考えております。

近年は、ライブやイベントにおける映像演出や物販に於いては、技術の進化に伴い、これ

までにない新機軸が次々と打ち出されております。

リアルとヴァーチャルが融合し、遠隔地に於いても、ライブビューイングや、スマートフォン、テレビでもライブを楽しむ。このような事は考えられない事でした。

また活況を呈する MICE 業界やプロ化が進む e スポーツ業界も気になります。この「気になる」を、折に触れ、テーマとして取り上げて参りたいと存じます。

つきましては、これまで以上に皆様のお力添えを心からお願いする次第です。ご指導ご鞭撻を賜ります様、お願い申し上げます。

ソフト制作研究委員会 委員長 吉田 諭敏

事務局長 あいさつ



梶光年 事務局長

この度、6月の通常総会にて二口事務局長の後任として事務局長に選任されました梶です。

非才の身には甚だ重く感じられる大任ですが、大竹理事長をはじめ役員、委員、会員の皆様方、そして事務局、諸先輩方のご指導をいただきながら責務を全う出来ればと思っております。

平成の時代も終わりに近づき新しい時代を迎えようとしています。映像業界も新4K、8K、AIなどと新しい技術革新を迎えようとしています。

一方「働き方改革」等の難題を抱え現場サイドも苦労されているとお聞きします。

事務局として何をすればよいのか？まだ右も左も判りませんが、楽しいコミュニケーションのジャブコムを目指し、会員拡大の広報、そしてジャブコムの発展に力を尽くすことも事務局の大きな仕事かと思っております。

会員皆様のご期待にどこまで応えられるか判りませんが、全力で努力いたします所存です。何卒皆様のご協力ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

事務局長 梶 光年

NPO法人JAVCOM ソフト研究委員会 6月勉強会 古典芸能に触れる「恵比寿エコー寄席」を体感する！ ～落語家さんとお話できる懇親会つき～



開催日：平成 30 年 6 月 5 日(火)

会 場：恵比寿・エコー劇場

講 師：古今亭 志ん橋一門

参加者：11 名 懇親会：7 名

6月のソフト研究委員会の勉強会は、JAVCOM 会員であるスタジオ・エコーの2階にある「恵比寿・エコー劇場」で行われました。この劇場でスタジオ・エコー主催の落語会が年2回、開催されています。10年以上続いた今、毎回満席で席が取れない状況です。

今回は、その「恵比寿エコー寄席」の席をJAVCOM 会員のために特別に先行でおさえていただき行いました。落語鑑賞後、古今亭の落語家さんからお話を聞く会（懇親会）を設けての勉強会でした。

今回が第35回を数える「恵比寿エコー寄席」ですが、まずはその始まりの物語からお話いたしましょう。当代の名人と呼ばれた「古今亭志ん朝」さん^{*1}がスタジオ・エコーの田寺代表の高校の同級生という事から始まります。

恵比寿にあるエコー劇場^{*2}ですが、エコービルの新劇場として新設されたときに、ここに劇場が出来ましたと、近隣の皆様に知っていただくという目的で、同級生の志ん朝さんが一肌脱いだのが始まりです。というわけで急ごしらえの「席亭」も決定して「寄席」が出来上がったのです。

当初は、何もわからず、手探りで始めた「席亭」という重責ですが、現在は3代目になり、師匠との打ち合わせ、演目の決定などをスムーズにこなしています。ちなみに、2代

目「席亭」が、アサヒ飲料株式会社と交渉し、協賛社としてソフト飲料の提供を受けることを実現しました。（現在はアサヒ飲料販売株式会社が協賛となっています）という訳で、演目が始まる前にビールやソフト飲料を楽しめるようになり、寄席に対する親近感がさらに高まっているようです。

もともと「寄席」には、「お茶子さん」が客席を回り、飲み物やお菓子を買っていましたが、アサヒ飲料販売さんのご協力により、この寄席でその雰囲気無料であじわえます。ありがたいことです。

なんて大きな声が劇場いっばいに響き渡ります。

実際やってみると、小劇場と「寄席」は相性が良かったのです。落語家さんの目線がちょうどお客様の目線と合うのです。声の響き方もちょうどよい、具合の良い「寄席」になったのです。目的が劇場のお披露目ですから儲かるはずありません。儲ける気もないのですから良いのですが、お客様には大そう喜ばれました。というわけで毎回満席の「寄席」が10年以上続いているのです。我がJAVCOMとしては、「この古典芸能のコンテンツを未来に向けてどう生かしていくかを考えるべきだ」と思っちゃったりなっています。

恵比寿に「寄席」が定着し、「サンマ」といえば「目黒」、「落語」といえば「恵比寿」になってほしいと渴望して、このお話は、おわり・・・いや始まります。

「ようお越し！！！！」おっとこれは上方落語だ！？

（文責 須藤 正徳）



※1) 3代目 古今亭 志ん朝 (ここんてい しんちょう、1938年3月10日 - 2001年10月1日)は、東京都文京区本駒込出身の落語家である。5代目古今亭志ん生の次男で、10代目金原亭馬生の弟、女優の池波志乃は姪、俳優の中尾彬は義甥にあたる。出囃子は『老松』。定紋は『鬼鷲』。

7代目立川談志、5代目三遊亭圓楽、5代目春風亭柳朝と共に、若手真打の頃から東京における『落語若手四天王』と呼ばれた。他に、同世代噺家の中では『東の志ん朝、西の枝雀』とも称される。(ウィキペディアより)

※2) 恵比寿・エコー劇場は、座席数122席の小劇場である。

1970年に原宿の稽古場より恵比寿に移転、定員79の日本初の本格的小劇場テアトル・エコーとして開場した。

1992年4月に現在の渋谷区東に移転し、収録スタジオを併設したエコービルの新劇場として再開した。(ウィキペディアより)

○日時 ... 6月5日(火)
午後6時30分開演

○場所 ... 恵比寿・エコー劇場
(渋谷区東3-18-3 JR恵比寿駅西口より徒歩5分)

○出演 ... 古今亭 志ん朝一門・他

○チケット取扱い ... スタジオ・エコー
☎: 03-5466-3322
メール: info@s-echo.co.jp
※エコービルの4階事務所でも承っております。
(平日 10:00~18:00、土 10:00~15:00)
※当日券の販売は未定です。

○前売り開始 ... 平成30年5月7日(月)
全席自由2,000円

○主催 ... アサヒ飲料販売株式会社

第35回

恵比寿エコー寄席

お待ちいたしました！ 何卒ご臨席に、お願ひ申し上げます。

《演目》

一、創作 十勝打ち 古今亭 駒次

一、賽馬 古今亭 志ん橋

仲入の

一、太神楽 福家 小花

一、南茶 古今亭 志ん陽



受付のみなさま、ご苦勞様でした

総会後の懇親会にて



大竹新理事長に金丸前理事長よりバトンタッチの握手



大竹新理事長による乾杯



ゴルフで優勝した橋本氏に金丸前理事長からトロフィーの贈呈